

**IBM InfoSphere DataStage and  
QualityStage**  
バージョン 8 リリース 7

**接続ガイド: iWay Server 編**

**IBM**



**IBM InfoSphere DataStage and  
QualityStage**  
バージョン 8 リリース 7

**接続ガイド: iWay Server 編**

**IBM**

**注記**

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、17 ページの『特記事項および商標』に記載されている情報をお読みください。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： SC19-3435-00  
IBM InfoSphere DataStage and QualityStage  
Version 8 Release 7  
Connectivity Guide for iWay Servers

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第1刷 2011.10

© Copyright IBM Corporation 2005, 2011.

---

## 目次

<b>iWay Enterprise ステージ</b> . . . . .	<b>1</b>	<b>IBM の窓口</b> . . . . .	<b>9</b>
iWay Enterprise ステージの作業 . . . . .	1	<b>製品資料</b> . . . . .	<b>11</b>
iWay を介したデータベース表の読み取り . . . . .	2	<b>構文図の見方</b> . . . . .	<b>13</b>
iWay を介したデータベース表での直接ルックアップの実行 . . . . .	2	<b>製品のアクセシビリティ</b> . . . . .	<b>15</b>
iWay を介したデータベース表でのメモリー内ルックアップの実行 . . . . .	3	<b>特記事項および商標</b> . . . . .	<b>17</b>
データ・タイプ変換 . . . . .	3	<b>索引</b> . . . . .	<b>21</b>
ステージ・エディターを使用した iWay Enterprise ステージ・プロパティの設定 . . . . .	3		
「ステージ」 ページ . . . . .	4		
「出力」 ページ . . . . .	4		



---

## iWay Enterprise ステージ

IBM® InfoSphere™ DataStage® は、データウェアハウスまたはデータマートに表を追加するジョブをデザイン、開発、実行するためのツール・セットです。iWay Enterprise ステージは、パラレル・ジョブで使用できます。

iWay Enterprise ステージは接続ステージです。iWay Enterprise ステージにより、iWay サーバーからデータを読み取ることができます。iWay ミドルウェアを使用して、多様なデータ・ソースにアクセスが可能です。iWay ミドルウェアは、一定のデータ・ソースへのアクセスにおける複雑さを解消するもので、メインフレーム・システム上の既存データベースのデータにアクセスするためによく使用されます。

iWay Enterprise ステージは、iWay 5.3 API を使用して iWay サーバーに接続します。このステージは、iWay 5.3 API でサポートされるすべてのプラットフォームとデータ・ソースに接続し、これらをサポートします。このステージは、iWay を介してデータ・ソースからデータを読み取るだけで、データ・ソースへのデータ書き込み機能やデータ・ソースの更新機能はありません。このステージでは、指定された iWay サーバーへの接続をセットアップし、表からのデータ読み取りとデータ・セットへのデータ書き込みを行います。このステージを使用して、iWay サーバーでホスティングされた表でルックアップを実行することもできます。このステージは、読み取り時には順次で、ルックアップ実行時にはパラレルで動作します。

iWay ミドルウェアを使用して、いくつかの異なるデータ・ソースにアクセスすることができます。そのため、特定データ・ソースの読み取りアクセス用の細かなチューニングは、iWay Enterprise ステージではなく、iWay クライアントで行われます。

注: iWay クライアントは、iWay コネクターとも呼ばれています。

---

## iWay Enterprise ステージの作業

iWay Enterprise ステージの編集には、ステージ・エディターを使用します。ステージ・エディターの詳細は、「*IBM InfoSphere DataStage and QualityStage* パラレル・ジョブ開発者ガイド」を参照してください。

iWay Enterprise ステージを使用して iWay サーバーに接続するには、iWay クライアントが InfoSphere DataStage and QualityStage™ サーバー上にインストールされている必要があります。クラスター・システムの場合には、iWay クライアントが必ずコンダクター・ノードにインストールされるようにしてください。

最小の手順で iWay Enterprise ステージを動作させることができます。必要な手順は、iWay Enterprise ステージを使用する対象によって異なります。

## iWay を介したデータベース表の読み取り このタスクについて

ジョブで iWay Enterprise ステージを使用するには、一定の情報を指定する必要があります。指定が必要な情報は、iWay データベースにデータを書き込むか、iWay データベースからデータを読み取るかによって異なります。

- 「プロパティ」タブで以下を行います。
  - 読み取り方を指定します。デフォルトの読み取り方は表です。この場合、表から直接データを読み取ります。自動生成 SQL またはユーザー生成の SQL を使用してデータを読み取るように選択することができます。
  - 読み取る表を指定します。
  - 読み取り方にユーザー生成の SQL を指定した場合には、使用する SELECT SQL ステートメントを指定します。読み取り方に自動生成 SQL を指定した場合には、自動生成された SQL ステートメントを必要に応じて編集できます。
  - データ・ソースへの接続にデフォルトの iWay サーバーを使用しない場合には、使用するサーバー名を指定します。
  - セキュリティー・モードを有効にして iWay サーバーが稼働している場合には、有効なユーザー名とパスワードを指定します。
  - 読み取り処理には列メタデータが必ず指定されるようにしてください。

## iWay を介したデータベース表での直接ルックアップの実行 このタスクについて

直接ルックアップを実行するには、以下の手順に従います。

- 参照リンクを使用して Lookup ステージに iWay Enterprise ステージを接続します。
- 「プロパティ」タブで以下を行います。
  - ルックアップ・タイプをスパースに設定します。
  - 読み取り方を指定します。デフォルト値は「表」です。この場合、表から直接データを読み取ります。自動生成 SQL またはユーザー生成の SQL を使用してデータを読み取るように選択することができます。
  - データを読み取る表を指定します。
  - 読み取り方にユーザー生成の SQL を指定した場合には、使用する SELECT SQL ステートメントを指定します。読み取り方に自動生成 SQL を指定した場合には、自動生成された SQL ステートメントを必要に応じて編集できます。
  - データ・ソースへの接続にデフォルトの iWay サーバーを使用しない場合には、使用するサーバー名を指定します。
  - セキュリティー・モードを有効にして iWay サーバーが稼働している場合には、有効なユーザー名とパスワードを指定します。
  - 読み取り処理には列メタデータが必ず指定されるようにしてください。



## iWay を介したデータベース表でのメモリー内ルックアップの実行 このタスクについて

メモリー内ルックアップは、iWay Enterprise ステージのデフォルトのルックアップ方式です。メモリー内ルックアップに必要な手順は、「プロパティ」タブでルックアップ・タイプを通常に設定すること以外は、直接ルックアップの場合と同じです。

---

### データ・タイプ変換

データの読み取り時に、iWay Enterprise ステージは、次の表に示すように iWay データ・タイプを IBM InfoSphere DataStage データ・タイプに自動的に変換します。

表 1. iWay Enterprise ステージのデータ・タイプ変換

InfoSphere DataStage SQL データ・タイプ	基礎データ・タイプ	iWay データ・タイプ
Integer	int32	Integer
Float、 Real	sfloat	Single Float
Double	dfloat	Double Float
Decimal Numeric	decimal (m,n)	Decimal (m,n)
Unknown Char LongVarChar VarChar	string [n]	Alphanumeric (length=n)
Binary Bit LongVarBinary VarBinary	raw	Binary
Date	date	Date
Unknown Char LongVarChar VarChar	string	Text
サポート対象外	サポート対象外	Graphic (DBCS)
Time	time	Time
Timestamp	timestamp	Timestamp

---

### ステージ・エディターを使用した iWay Enterprise ステージ・プロパティ の設定

iWay Enterprise ステージを動作させるには、ステージ・エディターを使用して次のプロパティを設定する必要があります。

## 「ステージ」 ページ

「ステージ」 ページには、「全般」、「高度」、「NLS」という最大で 3 つのタブがあります。これらのタブを使用して、iWay Enterprise ステージのプロパティを指定できます。

### 「全般」 タブ

「全般」 タブでは、ステージのオプションの説明を指定できます。

### 「高度」 タブ

「高度」 タブで、ステージの実行方法を指定することができます。次のプロパティを指定できます。

- 「**実行モード**」。読み取り処理の実行時には、ステージはデフォルトで順次モードで実行されます。順次モードでは、コンダクター・ノードがその処理を行います。ルックアップ処理の実行時には、ステージはデフォルトでパラレル・モードで実行されます。
- 「**結合可能モード**」。デフォルトの結合可能モードは「自動」です。「自動」モードでは、パラレル・ステージを構成するオペレーターが結合され、パフォーマンス向上のために同じプロセスで実行されます。
- 「**パーティションの保持**」。「設定」または「クリア」を選択できます。「設定」を選択すると、読み取り処理は、パーティションを保持する要求を次のステージに送ります。
- 「**ノード・プールとリソースの制約**」。このオプションを選択すると、グリッドに指定されたノード・プールとリソース・プールにパラレル実行が制約されません。グリッドを使用して、ノード・プールとリソース・プールを選択します。選択は、構成ファイルから取り込まれます。
- 「**ノード・マップの制約**」。このオプションを選択すると、定義されたノード・マップのノードにパラレル実行が制約されます。ノード・マップを定義するには、テキスト・ボックスにノード番号を入力するか、「参照」ボタンをクリックして「使用可能なノード」ウィンドウからノードを選択します。

**注:** このステージを使用して iWay を介して表の直接ルックアップ処理を実行する場合、つまり、ルックアップ・モードにスパースを選択している場合、「ステージ」 ページの「高度」 タブはブランクです。

### 「NLS マップ」 タブ

「NLS マップ」 タブでは、iWay Enterprise ステージの文字セット・マップを定義することができます。定義した文字セット・マップは、プロジェクトまたはジョブに設定されたデフォルトの文字セット・マップをオーバーライドします。ジョブにパラメーターとして NLS マップが必要な場合、マップをジョブ・パラメーターとして指定する必要があることをこのタブで指定できます。

## 「出力」 ページ

「出力」 ページでは、iWay Enterprise ステージが iWay サーバーを介してデータを読み取る方法を指定できます。iWay Enterprise ステージは、1 つしか出力リンク

を持つことができません。「出力」ページには、「全般」、「プロパティ」、「列」、「高度」の4つのタブがあります。

## 「全般」タブ

「全般」タブでは、出力リンクのオプションの説明を指定できます。

## 「プロパティ」タブ

「プロパティ」タブでは、出力リンクのプロパティを指定できます。指定したプロパティによって、着信データをどの表からどのように読み取るかを指示します。デフォルト設定がないプロパティは赤色で表示され、値を指定すると黒色になります。

次の表で、プロパティとその属性をリストします。その後、各プロパティの詳細な説明を示します。

表2. ソース・プロパティと対応する値

プロパティ	値	デフォルト	必須？	従属
ルックアップ・タイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常</li> <li>スペース</li> </ul>	通常	出力が Lookup ステージに接続された参照リンクである場合、はい	N/A
読み取り方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>表</li> <li>自動生成 SQL</li> <li>ユーザー定義 SQL</li> </ul>	表	はい	N/A
表	<string>	N/A	読み取り方式が「表」または「自動生成 SQL」の場合、はい	N/A
WHERE 節	<string>	N/A	いいえ	表
選択リスト	<string>	N/A	いいえ	表
照会	<string>	N/A	はい (読み取り方式が「自動生成 SQL」または「ユーザー定義 SQL」の場合)	N/A
タイムアウト	<string>	0	いいえ	N/A

表3. 接続プロパティと対応する値

ヘッダー	ヘッダー	ヘッダー	ヘッダー	ヘッダー
サーバー	<string>	N/A	いいえ	N/A
ユーザー	<string>	N/A	いいえ	N/A
パスワード	<string>	N/A	いいえ	N/A

表4. オプション・プロパティと対応する値

ヘッダー	ヘッダー	ヘッダー	ヘッダー	ヘッダー
クローズ・コマンド	<ストリング>	N/A	いいえ	N/A
照会タイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SQL</li> <li>• コマンド</li> <li>• ストアード・プロシージャ</li> </ul>	SQL ストリング	いいえ	クローズ・コマンド
タイムアウト	<ストリング>	0	いいえ	クローズ・コマンド
オープン・コマンド	<ストリング>	N/A	いいえ	N/A
照会タイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SQL</li> <li>• コマンド</li> <li>• ストアード・プロシージャ</li> </ul>	SQL ストリング	いいえ	オープン・コマンド
タイムアウト	<ストリング>	N/A	いいえ	オープン・コマンド
データ・パスワード	<ストリング>	N/A	いいえ	N/A
EDA 設定	<ストリング>	N/A	いいえ	N/A

## ソース・カテゴリー

### ルックアップ・タイプ

iWay Enterprise ステージが参照リンクを介して Lookup ステージに接続される場合に、iWay Enterprise ステージが、データベースにおけるメモリー内ルックアップ処理または直接ルックアップ処理のどちらのデータを提供するかを指定できます。

### 読み取り方式

iWay を介してデータベースを読み取る場合に、表または照会を指定できます。

「表」プロパティを使用するには、読み取り方式に「表」を選択します。読み取り方式に自動生成 SQL を選択すると、定義した列と表プロパティに指定した表に基づいて、SQL 照会が自動的に生成されます。独自の照会を定義するには、「ユーザー定義 SQL」を選択します。

### 照会

読み取り方式に「ユーザー定義 SQL」または「自動生成 SQL」を選択した場合、このプロパティで SQL 照会を指定できます。自動生成 SQL を使用する場合は、表を選択し、列定義を指定してください。SQL ステートメントには、結合、ビュー、データベース・リンク、同義語などを含めることができます。

## 表

iWay を介してアクセスする表の名前を指定します。表に対する選択特権が必要です。

読み取り方式に「表」を使用する場合、「表」プロパティには、次の従属プロパティがあります。

### • WHERE 節

このプロパティを使用して、SELECT ステートメントの WHERE 節を指定し、読み取り処理に含める、または読み取り処理から除外する表行を指定することができます。WHERE 節を指定しないと、すべての行を読み取ります。

### • 選択リスト

このプロパティを使用して、列名の SQL 選択リストを指定できます。

## タイムアウト

読み取り処理またはロックアップ処理に指定された SQL ステートメントのタイムアウト値 (秒) をオプションで入力します。デフォルト値は 0 です。この場合、SQL ステートメントの実行を待機する時間が無期限になります。

## 「接続」カテゴリー

### サーバー

データベースへのアクセスに使用する iWay サーバーをオプションで指定します。ここでサーバーを指定しないと、デフォルトのサーバーが使用されます。

### ユーザー

iWay サーバーへの接続時に使用するユーザー名をオプションで指定します。iWay サーバーでセキュリティー・モードが使用不可になっている場合、これは必須ではありません。

### パスワード

iWay サーバーへの接続時に使用するパスワードをオプションで指定します。iWay サーバーでセキュリティー・モードが使用不可になっている場合、これは必須ではありません。

## 「オプション」カテゴリー

### クローズ・コマンド

データ・リトリブ後に実行する SQL ステートメントをオプションで指定します。クローズ・コマンドのオプションには、次の 2 つのサブオプションがあります。

#### • 「照会タイプ」。

クローズ・コマンドに含まれる照会のタイプを記述します。次のいずれかのオプションを選択します。

- SQL

- コマンド
- ストアード・プロシージャ
- 「タイムアウト」。

クローズ・コマンドで指定された SQL ステートメントのタイムアウト値 (秒) をオプションで指定します。デフォルト値は 0 です。この場合、SQL ステートメントの実行を待機する時間が無期限になります。

### オープン・コマンド

データ・リトリブ後に行する SQL ステートメントをオプションで指定します。オープン・コマンドのオプションには、次の 2 つのサブオプションがあります。

- 「照会タイプ」。

オープン・コマンドに含まれる照会のタイプを記述します。次のいずれかになります。

- SQL
- コマンド
- ストアード・プロシージャ

- 「タイムアウト」。

オープン・コマンドで指定されたステートメントのタイムアウト値 (秒) をオプションで指定します。デフォルトは 0 です。その場合、IBM InfoSphere DataStage は、ステートメントの実行を無期限に待ちます。

### データ・パスワード

指定された表へのアクセスで使用するパスワードをオプションで指定します。

### EDA 設定

*name=value* の組をセミコロンで区切ったリストで、iWay 環境変数の値をオプションで指定します。

## IBM の窓口

お客様サポート、ソフトウェア・サービス、製品情報、および全般情報について、IBM と連絡を取ることができます。また、製品についてのフィードバックを行うことができます。

次の表に、お客様サポート、ソフトウェア・サービス、研修、製品およびソリューション情報に関するリソースをリストしています。

表 5. IBM リソース

リソース	説明と場所
IBM サポート・ポータル	サポート情報は、 <a href="http://www.ibm.com/support/entry/portal/Software/Information_Management/InfoSphere_Information_Server">www.ibm.com/support/entry/portal/Software/Information_Management/InfoSphere_Information_Server</a> で、製品と関心のあるトピックを選択してカスタマイズできます。
ソフトウェア・サービス	ソフトウェア、IT、およびビジネス・コンサルティング・サービスについての情報は、「ソリューション」サイト <a href="http://www.ibm.com/businesssolutions/jp/ja">www.ibm.com/businesssolutions/jp/ja</a> にアクセスしてください。
My IBM	<a href="http://www.ibm.com/account/jp/ja/">www.ibm.com/account/jp/ja/</a> の「My IBM」サイトでアカウントを作成し、特定のテクニカル・サポートのニーズに合うように、IBM Web サイトおよび情報へのリンクを管理できます。
研修と認定	個人、法人、および公共団体向けに、IT 技術の習得、維持、最適化を目的としてデザインされた技術研修およびサービスについては、 <a href="http://www.ibm.com/software/sw-training/">http://www.ibm.com/software/sw-training/</a> にアクセスしてください。
IBM 担当員	ソリューションについて IBM 担当員と連絡を取るには、 <a href="http://www.ibm.com/connect/ibm/us/en/">www.ibm.com/connect/ibm/us/en/</a> にアクセスしてください。

## フィードバックの提供

次の表は、製品についてのフィードバックを行う方法を示しています。

表 6. IBM へのフィードバックの提供

フィードバックの種類	操作
製品のフィードバック	<a href="http://www.ibm.com/software/data/info/consumability-survey">www.ibm.com/software/data/info/consumability-survey</a> の「Consumability Survey」を通して、全般的な製品のフィードバックを行うことができます。





---

## 製品資料

資料は、製品のクライアント・インターフェースから直接開くことができるヘルプ、スイート全体に渡るインフォメーション・センター、および PDF ファイルのブックなど、さまざまな場所および形式で提供されます。

以下の Web で最新情報を入手できます。

[www.ibm.com/jp/software/data/](http://www.ibm.com/jp/software/data/) (日本語のサイト)

[www.ibm.com//software/data/integration/info\\_server/](http://www.ibm.com//software/data/integration/info_server/) (英語のサイト)

インフォメーション・センターは、IBM InfoSphere Information Server に付属した共通サービスとしてインストールされます。インフォメーション・センターには、スイートのすべての製品モジュールの完全な資料だけでなく、ほとんどの製品インターフェースのヘルプも含まれています。インフォメーション・センターは、インストール済み製品から開くことも、Web ブラウザーから開くこともできます。

### インフォメーション・センター

次の方法でインストール済みのインフォメーション・センターを開くことができます。

- クライアント・インターフェースで、画面右上の「ヘルプ」リンクをクリックします。

**注:** IBM InfoSphere FastTrack および IBM InfoSphere Information Server Manager から、メインのヘルプ項目がローカルのヘルプ・システムを開きます。「ヘルプ」>「インフォメーション・センターを開く」を選択して、全スイートのインフォメーション・センターを開きます。

- F1 キーを押します。F1 キーを押すと、通常、クライアント・インターフェースの現行コンテキストを説明するトピックが開きます。

**注:** F1 キーは、Web クライアントでは機能しません。

- 製品にログインしていないときでも、インストールされたインフォメーション・センターには Web ブラウザーを使用してアクセスできます。Web ブラウザーで、アドレス `http://host_name:port_number/infocenter/topic/com.ibm.swg.im.iis.productization.iisinfsv.home.doc/ic-homepage.html` を入力します。host\_name はインフォメーション・センターがインストールされているサービス層コンピューターの名前で、port\_number は InfoSphere Information Server のポート番号です。デフォルトのポート番号は 9080 です。例えば、「iisdocs2」という名前の Microsoft® Windows® Server コンピューターの場合、Web アドレスの形式は次のようになります。`http://iisdocs2:9080/infocenter/topic/com.ibm.swg.im.iis.productization.iisinfsv.nav.doc/dochome/iisinfsv_home.html`

インフォメーション・センターのサブセットも IBM Web サイトの `publib.boulder.ibm.com/infocenter/iisinfsv/v8r5/index.jsp` から利用可能で、これは適宜更新されます。

## PDF およびハードコピー資料の入手

- PDF ファイルのブックは、InfoSphere Information Server ソフトウェア・インストーラーおよび配布メディアを通して利用可能です。PDF ファイル・ブックのサブセットもオンラインで [www.ibm.com/support/docview.wss?rs=14&uid=swg27008803](http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=14&uid=swg27008803) から利用可能で、これは適宜更新されます。
- IBM 資料は、オンラインでダウンロード、または IBM 担当員を通じてご注文いただけます。資料をオンラインでダウンロードするには [www.ibm.com/shop/publications/order](http://www.ibm.com/shop/publications/order) の IBM Publications Center にアクセスしてください。

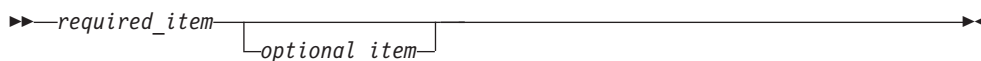
## 構文図の見方

本書で使用されている構文図には、以下の規則が適用されます。

- 構文図は、左から右、上から下に、線のパスに従って読み取ります。以下の規則が使用されています。
  - >>--- シンボルは、構文図の開始を示します。
  - ---> シンボルは、構文図が次の行に続くことを示しています。
  - >--- シンボルは、構文図が直前の行から続いてきていることを示します。
  - --->< シンボルは、構文図の終わりを示します。
- 必須項目は、水平線 (メインパス) 上に示されています。



- オプション項目は、メインパスの下に示されています。

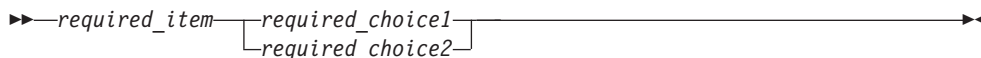


オプション項目をメインパスの上に示すこともありますが、それは構文図を見やすくするためであり、構文要素の実行に影響するものではありません。

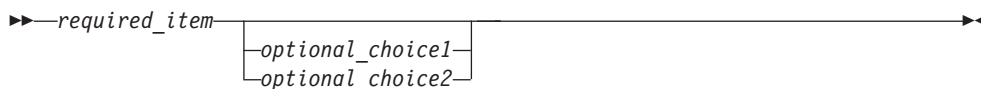


- 複数の項目から選択できる場合は、垂直にスタック形式で示されています。

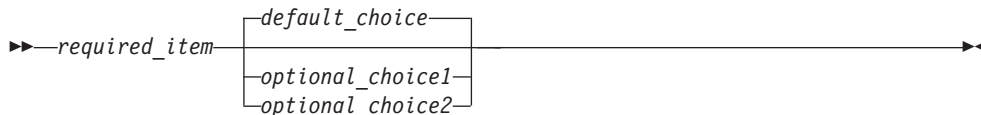
項目の 1 つを選択する必要がある場合は、スタックの 1 つの項目がメインパス上に示されています。



項目のいずれかを選択することがオプションの場合、スタック全体がメインパスの下に示されます。



項目の 1 つがデフォルトである場合は、その項目はメインパスの上に示され、残りの選択項目は下に示されます。



- メインラインの上を通過して左に戻る矢印は、反復可能な項目を示します。

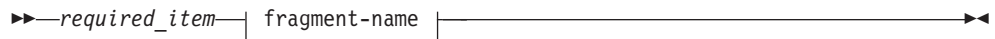


反復の矢印にコンマが含まれる場合は、反復項目をコンマで区切る必要があります。



スタックの上部に反復の矢印がある場合は、スタック内の項目を反復できることを示します。

- 図をフラグメントに分割しなければならない場合があります。構文フラグメントは、メインの構文図とは分割されて示されますが、フラグメントの内容は、図のメインパス上にあるかのように読む必要があります。



#### Fragment-name:



- キーワード (および最小の省略形がある場合はその省略形) は英大文字で示されます。それらは示されたとおりに正確なスペルでなければなりません。
- 変数は、すべて英小文字のイタリック体で示されます (例: **column-name**)。これは、ユーザー指定の名前または値を表します。
- 図で、途中に句読点が見えない場合は、キーワードおよびパラメーターを少なくとも 1 つのスペースで区切ってください。
- 句読記号、括弧、算術演算子、およびその他の記号は、図に示されているとおりに入力してください。
- 脚注は、(1) のように、括弧の中に数字を入れた形で示されます。

---

## 製品のアクセシビリティ

IBM 製品のアクセシビリティ対応状況についての情報を入手できます。

IBM InfoSphere Information Server 製品のモジュールおよびユーザー・インターフェースは完全にはアクセシビリティ対応がなされていません。インストール・プログラムは、次の製品モジュールとコンポーネントをインストールします。

- IBM InfoSphere Business Glossary
- IBM InfoSphere Business Glossary Anywhere
- IBM InfoSphere DataStage
- IBM InfoSphere FastTrack
- IBM InfoSphere Information Analyzer
- IBM InfoSphere Information Services Director
- IBM InfoSphere Metadata Workbench
- IBM InfoSphere QualityStage

IBM 製品のアクセシビリティ対応状況の詳細は、[http://www.ibm.com/able/product\\_accessibility/index.html](http://www.ibm.com/able/product_accessibility/index.html) をご覧ください。

### アクセシビリティ対応資料

インフォメーション・センターには、InfoSphere Information Server 製品のアクセシビリティ対応資料が用意されています。インフォメーション・センターでは、ほとんどの Web ブラウザーで表示可能な XHTML 1.0 形式で資料を提供しています。XHTML により、使用しているブラウザーに設定されている表示形式で資料を表示できます。さらに、スクリーン・リーダーやその他の支援技術を使用して、資料にアクセスすることもできます。

### IBM のアクセシビリティ

アクセシビリティに関する IBM のコミットメントについては、IBM Human Ability and Accessibility Center を参照してください。



---

## 特記事項および商標

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

### 特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒242-8502  
神奈川県大和市下鶴間1623番14号  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
法務・知的財産  
知的財産権ライセンス渉外

**以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。** IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation  
J46A/G4  
555 Bailey Avenue  
San Jose, CA 95141-1003 U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、さまざまなオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布するこ



とができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。サンプル・プログラムは特定物として現存するまま提供し、法律上の瑕疵担保責任を含むいかなる保証責任も負いません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年). このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。 © Copyright IBM Corp. \_年を入れる\_. All rights reserved.

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

## 商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

以下は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

IT Infrastructure Library は英国 Office of Government Commerce の一部である the Central Computer and Telecommunications Agency の登録商標です。

インテル、Intel、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel Centrino、Intel Centrino ロゴ、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

ITIL は英国 Office of Government Commerce の登録商標および共同体登録商標であって、米国特許商標庁にて登録されています。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Cell Broadband Engine, Cell/B.E は、米国およびその他の国における Sony Computer Entertainment, Inc. の商標であり、同社の許諾を受けて使用しています。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。



---

## 索引

日本語、数字、英字、特殊文字の順に配列されています。なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

### [ア行]

お客様サポート 9

### [カ行]

概要 1  
「高度」タブ 4

### [サ行]

サポート  
お客様 9  
「出力」ページ 4  
出力プロパティ 5  
「ステージ」ページ  
「高度」タブ 4  
「NLS マップ」タブ 4  
製品のアクセシビリティ  
アクセシビリティ 15  
接続、iWay サーバーへの 1  
ソフトウェア・サービス 9

### [タ行]

直接ルックアップ 2  
データ・タイプ変換 3  
特記事項 17

### [ハ行]

プロパティ  
iWay Enterprise ステージの出力 5  
変換  
タイプ 3

### [マ行]

メモリー内ルックアップ 3

### [ヤ行]

読み取り 2

### [ラ行]

ルックアップ  
メモリー内 3

### I

iWay Enterprise ステージ 1  
iWay Enterprise ステージの出力プロパティ 5

### N

「NLS マップ」タブ 4

### W

Web サイト  
IBM 以外 13







Printed in Japan

SA88-4507-00



日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21